

Sustainable Report No.060

釣りが出来る環境を次の世代へ — 海の恵みの豊かさを守る

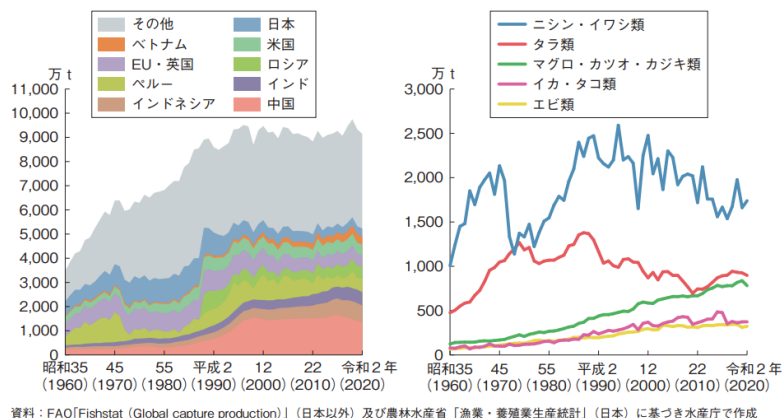


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

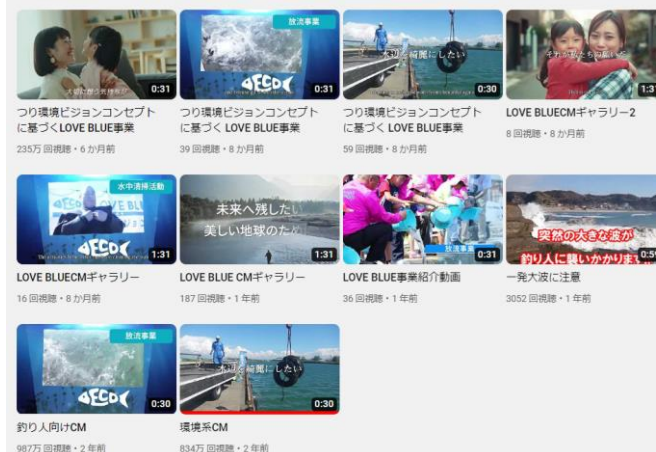
- 世界で**乱獲状態にある水産資源は34.2%**におよび、自然が本来持っている再生力を失うと**食用の天然魚などが枯渇**してしまう。
- 世界では水産資源の消費量が増加傾向にあり、水産庁によると 1人当たり**過去50年で約2倍に増加**。人口増加や生活水準の向上による食生活の変化が要因となっている。
- 魚の枯渇は**釣り業界にも危機感をもって影響**を与え、例えば公益財団法人日本釣振興会は「いつまでも釣りを楽しめる豊かな水辺環境を次世代へ」をテーマに、動画配信での広報を強化している。

■ 国別及び魚種別漁獲量の推移



出典：水産庁

■ つり環境ビジョン事業の動画配信



出典：つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE事業

▶NEXT：メーカー小売りとの連携

■ 実行者／解決方法／残る課題

- 釣り業界では釣場保護と環境改善に向けた活動から派生して、**釣り具の小売り店の大手が SDGs達成への方針**を掲げはじめている。
- その方針に沿った取り組みとして**稚魚放流や海辺の清掃活動や釣り具の脱プラスチック**がある。それらの資金は、オリジナル商品販売の収益の一部や店頭募金などで調達している。
- このような環境活動を最大限に活かすためには、**釣り人のルール遵守やマナーの認識**が不可欠である。

■ FISHINGOOD Project by イシグロ (釣り場清掃・稚魚の放流)



■ 釣り人宣言 (釣りのルール・マナーと安全)



出典：株式会社イシグロ

出典：公益財団法人日本釣振興会

▶NEXT：健全なレジャーとして「釣り文化」

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- 釣り場のマナー問題は根深い。釣り人による不要になった**餌容器や仕掛けのポイ捨てや放置**、その他違法駐車、立入禁止場所への無断進入などが挙げられる。
- **個々人のモラルに委ねる状況から脱し**、明確なルールを設け、利用者の行動管理が理想である。
- まずは地域の漁業組合などが中心となり入場料を設けるなどして、**ごみ箱や駐車場の整備**範囲を広げていくことで、**水産資源を守る活動とその危機感を身近に**感じさせることができるのではないか。

■ 釣り場のごみの様子



出典：株式会社フィッシングマックス

■ マナー啓蒙看板

デポルトピアで釣りを楽しむみなさまへ

ここは、散歩や憩いの場などとしても大切な場所です。
釣りのルールとマナーを守って、いつまでもみんなが
気持ちよく楽しめるよう心がけましょう。
明日の釣り場を守るためには釣りの後始末が大切です。



出典：公益財団法人日本釣振興会

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 水産庁, 「令和3年度 水産白書」, 2022年6月3日 (<https://www.jfa.maff.go.jp/j/kikaku/wpaper/R3/attach/pdf/220603-14.pdf>)
- 公益財団法人日本釣振興会, 「つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE事業」公式サイト, 2023年5月18日参照 (<https://www.loveblue.jp/>)
- 株式会社イシグロ, 「FISHINGOOD Project by イシグロ」, 2023年5月18日参照 (<https://www.ishiguro-gr.com/70th/fishingood/>)
- 公益財団法人日本釣振興会, 「釣りのルール・マナーと安全」, 2023年5月18日参照 (<https://www.jsafishing.or.jp/thought/rule>)
- 株式会社フィッシングマックス, 釣果記事「昨日4連休最終日のゴミの量!!!」, 2020年9月23日 (<https://fishingmax.co.jp/fishingpost/816749>)
- 公益財団法人日本釣振興会, 「事業紹介」, 2023年5月18日参照 (<https://www.jsafishing.or.jp/activity/signboard>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は株式会社小川電機に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。